

【出願資格・要件について】

①2019 年度秋学期までの通算 GPA が希望する留学先の GPA 要件を満たしている状態です。2020 年度春学期の成績が下がってしまい、志望留学先大学の要件を下回った場合でも留学できますか？

⇒できません。失格となります。

②語学要件が全ての語学テストに関して NA(Not applicable/available)と記載されている場合は、語学力不問ということでしょうか？

⇒交換留学が、留学先の大学で正規科目を履修することを目的としている以上、**授業に参加し、課題や試験をこなす語学力は必要**です。留学の手続は原則英語で行なうため、責任もって手続を行なえるだけの語学力が必要です。英語で履修する場合の目安は TOEFL ITP450～500 点以上、韓国語で履修する場合の目安は TOPIK3 級・ハングル検定 3 級以上、中国語の場合は HSK3 級・TOCFL3 級以上です。遅くとも留学出発までに達成できるよう努めることを前提に出願してください。なお、留学先で語学科目のみを履修し、学部または研究科の開講する正規科目の単位修得ができなかった場合(例えば大学附属の語学学校の科目しか履修・修得しなかった場合など)、交換留学奨学金の受給資格を失うため東洋大学からの奨学金は返還していただきます。

【出願手続・選考について】

①出願後に語学スコアを出しなおすことはできますか？

⇒できません。出願時に提出されたスコアで選考を行います。

②出願後に志望留学先や志望順位、留学期間を変更することはできますか？二次選考用のプレゼンテーション資料を差替えることはできますか？

⇒出願期間内であれば可能です。出願期間内に新たに出願し直してください。メールや電話での変更依頼は受け付けません。出願期間終了後は一切変更不可となります。

③UMAP への交換留学と東洋大学の協定校への交換留学を併願することはできますか？

⇒可能です。志望大学を選択する項目で「UMAP」を選択し、UMAP 加盟校の中での志望大学記入欄に志望する留学先を 5 つ記入してください。

④二次選考はどの言語で行われますか？

⇒面接官による質疑応答含め、すべて留学先での学修言語で行われます。

⑤二次選考ではどのような質問をされますか？どのような準備をしたらいいのでしょうか？

⇒選考内容に関することはお答えできません。

⑥二次選考で使用するプレゼンテーション資料の『②履修意欲および計画性(留学先で学修を希望する分野・履修を希望する科目およびその理由)』について、出願の時点ではどの学部にも所属できるのか、どういった授業が履修できるのかわからないと思うのですが、何を書くべきでしょうか？

⇒ファクトシートの「履修可能な科目リスト」「履修できない学問分野」「(非英語圏のみ)英語での開講科目リスト」を参照し、現時点での希望分野・科目名に基づいて学修計画を記入してください。記載されていない場合、留学先大学のウェブサイト上で「Course Catalogue」「Course List」(非英語圏で英語で履修する際は「English Taught Courses」等)でサイト内検索し、各自で確認してください。学修計画作成の際は、下記の【留学先での学修について】も参考にしてください。

#### 【留学先での学修について】

①留学先ではどのようなことが学べますか？

⇒それぞれの大学のウェブサイトを確認してください。また、ファクトシートの「開講科目一覧」リンク先と「交換留学学生の履修が制限されている学部・コース」欄も参考にしてください。各大学が強みとしている学問分野は、ファクトシートの「オススメの学問分野」に記載されています。

②留学先ではどの学部所属することになりますか？

⇒自分が履修したい科目を一番多く開講している学部を希望所属学部として申告することになります。東洋大学での専攻と大きく異なる分野・科目を履修する場合は単位認定が難しくなる可能性があります。あらかじめ教務課で確認してください。

③非英語圏(アジア・ヨーロッパ)で英語による学修を希望しています。英語での開講科目はどのように確認したらいいでしょうか？

⇒募集要項別紙のファクトシート内、「英語での開講科目」欄に記載されているリンクから確認してください(または、留学希望先大学のウェブサイト内で「Courses taught in English」などで検索)。ただし、記載されている科目はその時点での開講科目であり、次年度同じ科目が開講されるとは限りません。学修希望分野を絞り込みすぎず、履修したいと思える科目が多い留学先を選択してください。

④履修を考えている科目が単位認定されるか予め確認したい。何単位までどの科目として認定されますか？

⇒単位認定については所属学部教務課に確認してください。

#### 【その他】

①留学にかかる費用が知りたいです。

⇒航空券、住居費(光熱費等含む)、食費、通信費、保険料、教材費、その他生活費(交際費含む)がかかります(このほか、東洋大学の授業料は留学中も通常通り納入していただく必要があります)。金額は留学先や個人により異なりますが、1年間の交換留学(授業料免除)の場合、北米地域への留学では約160万円、ヨーロッパは約120万円、アジアは約75万円、オセアニアは約130万円費用がかかります(2017年度に1年間留学した学生のアンケートを基に算出)。交換留学決定後の手続で必要となる滞在資金証明等については、募集要項「6.出願に当たっての注意事項⑤」も参考にしてください。

また、「留学レポート」にアクセスし、希望する大学に留学中の先輩のレポートを確認してみてください。留学者がいない場合、同じ国や地域の別大学の支出状況を参考にしてみてください。

#### 留学レポートへのアクセス方法

- (1) <https://ryugaku.toyo.ac.jp/ryugaku/> へアクセス
- (2) ログイン画面の赤字記載の案内の通り、ID・パスワードを入力
- (3) 地図上の旗をクリック、もしくは画面左側で条件を設定して検索
- (4) 過去の参加者の学修内容や費用、アドバイスなどを確認

#### ②交換留学の学内選考に合格した後はどのような手続がありますか？

⇒留学先大学への手続書類提出や渡航手配、ビザ申請等、出発までに必要な手続をご自身で行う必要があります。あくまでも「**留学するのは自分自身**」という自覚を持って取り組んでください。手続の遅れや不備により留学取消となる場合がありますので、十分に注意してください。手続の流れなどは出発前オリエンテーションでご案内します。出発前オリエンテーション(土曜に複数回実施)は全員出席必須です。